

事業番号	04 08 02	事業改善シート（28年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	飛び立て若者！奨学金給付事業				担当課	部局	県民文化部	
						課・局・室	私学・高等教育課	
総合5か年計画	プロジェクト	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 5 すべての子どもの学びを保障する支援				E-mail	shigaku-koto@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開				実施期間	H27 ～		
	人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	2-3 若者のライフデザインの希望現実					
施策展開		1-(2) 信州ならではの魅力ある子育て環境づくり (イ) 子育てに伴う経済的負担の軽減						

1 事業の概要

目指す姿	経済的困難を有するだけでなく、親がいない又は親との関係が希薄であるなどの理由により学習の継続への動機付けが不足し、進学 の道がとぎされがちな環境にありながらも、意欲ある学生を支援するための奨学金を給付する。									
現状 (予算編成時)	県内の児童養護施設に入所措置された児童のうち、大学等への進学率は2～3割で推移している。									
県が関与 する理由	県関与の必要性あり			【左記の説明、根拠法令等】						
	県民との協働による実施： 実施中			「しあわせ信州創造プラン」の施策の総合的展開として、「すべての子どもの学びを保障する支援」 を掲げており、寄付金を財源とした基金を活用することが効果的である。						
成果目標・ 事業内容	① 成果目標 (H28)									
	大学等の高等教育機関に進学できる環境(修学資金の給付)を整える。(給付人数:年10名程度)									
	② 事業内容 (単位:千円)									
	項目		実施方法	H28事業実績		H28		H29		
						(当初)	(決算)	(当初)		
	飛び立て若者！奨学金給付 事業補助金		補助金	寄付金を財源として「ルートイングループ・永山勝利」 大学修学等支援基金を設け、その基金からの繰出金 を充当し、奨学金給付事業を実施する。		12,000	7,800	12,600		
	その他経費		直接	奨学金支給者選定委員の報償費・費用弁償及び、基 金積立金		12,089	12,089	18,089		
				合計		24,089	19,889	30,689		

事業 コスト	区分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	予算 額	前年度繰越	0	0	0	項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算	12,057	24,089	30,689				目標	成果	達成状況	
		補正予算	-1,500	-4,200		対象児童の大学等進学率	23.7% (H25卒業)	17.1% (H26卒業)	進学率 向上	18.9% (H27卒業)	達成 (H27 卒業比)	進学率向上 (H28卒業 比)
		合計(A)	10,557	19,889	30,689							
	Aの 財源	一般財源	57	89	89							
		県 債	0	0	0							
		国庫支出金	0	0	0							
		その他	10,500	19,800	30,600							
	決 算 額(B)		10,543	19,889								
概 算 人件費	職員数(人)	1.00	1.00	1.00								
	概算人件費 (C)	8,276	7,914	7,914								
概算事業費(B(A)+C)		18,819	27,803	38,603								

目標に対 する成果 の状況	進学者数はH25年度卒9名、H26年度卒6名、H27年度卒7名であった。母数が少ないため、数人の増減が率の増減に影響するため、長 期的に見る必要があるが、H28年度は前年度より進学率が増加した。制度の定着により進学を選択する若者が増加すると期待できる。									
---------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業 をどのよう にしてい きたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施									
	H28年度から厚生労働省による貸付型奨学金が、H29年度から文部科学省による給付型奨学金が新たに始まるなど、全国レベルで困難 を有する若者の進学支援の機運が高まっている。前述の貸付型奨学金との併給はできないため、受給者の希望を聴き取りながら実施す ることになるが、本事業は出資者の強い意向に沿って引き続き実施していく。									